

ファン & オルタネータ Vベルト (1NZ-FE) 取り付け

る。オルタネータとカムシャフトタイミングオイルコントロールバルブ(インターカムニホールド側)の間にハブナットレンチまたはバーを差し込むとカムシャフトタイミングオイルコントロールバルブを破損させる恐れがあるため、絶対に行わない。

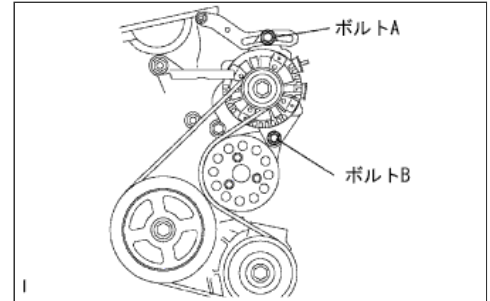
1. ファン & オルタネータ Vベルト取り付け
2. ファン & オルタネータ Vベルト調整
3. Vリブドベルト点検
4. エンジンアンダカバー RH取り付け

- b. 調整用ボルトAを締め付けてから、固定用ボルトBを締め付ける。

基準値

$T = 19 \text{ N} \cdot \text{m} \{ 189 \text{ kgf} \cdot \text{cm} \}$ (ボルトA)

$T = 54 \text{ N} \cdot \text{m} \{ 551 \text{ kgf} \cdot \text{cm} \}$ (ボルトB)



3. Vリブドベルト点検

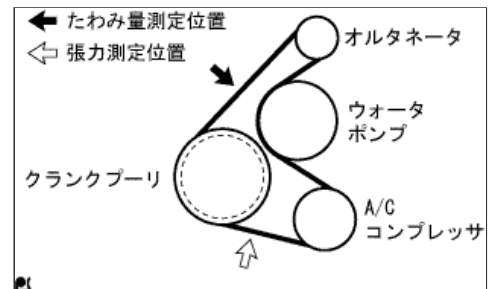
- a. ファン&オルタネータVベルト張力およびたわみ量点検

たわみ量(押力 98N{10kgf})

新品取り付け時 [mm]	点検時 [mm]
8.0-9.0	12.5-13.5

張力

新品取り付け時 [N{kgf}]	点検時 [N{kgf}]
700-800{71-82}	300-400{31-41}



■ 注意 ■

- ベルト張力、たわみ量は必ず冷間時で測定する。
- Vリブドベルトの張力、たわみ量について、「新品取り付け時」はベルト取付直後の、「点検時」はクランキング後の値を示す。
- ベルトのたわみ量は、定められたプーリ間の最大たわみ位置で測定する。
- 新品のベルトに交換するときには、[新品取り付け時]の基準値の中央値に調整する。
- 5分以上使用したベルトの点検は、[点検時]の基準値で確認する。
- 5分以上使用したベルトの再組み付け時は、[点検時]の基準値の中央値に調整する。
- Vリブドベルトの張力、たわみ量はクランキング2回転後の値を示す。
- ベルトテンションゲージを使用する場合は、マスタゲージで精度チェックを行ってから測定する。
- ベルト張力は冷間時および上死点で測定する。

4. エンジンアンダカバー RH取り付け